

2021年3月期第3四半期セグメント資料

株式会社島精機製作所

2021年2月

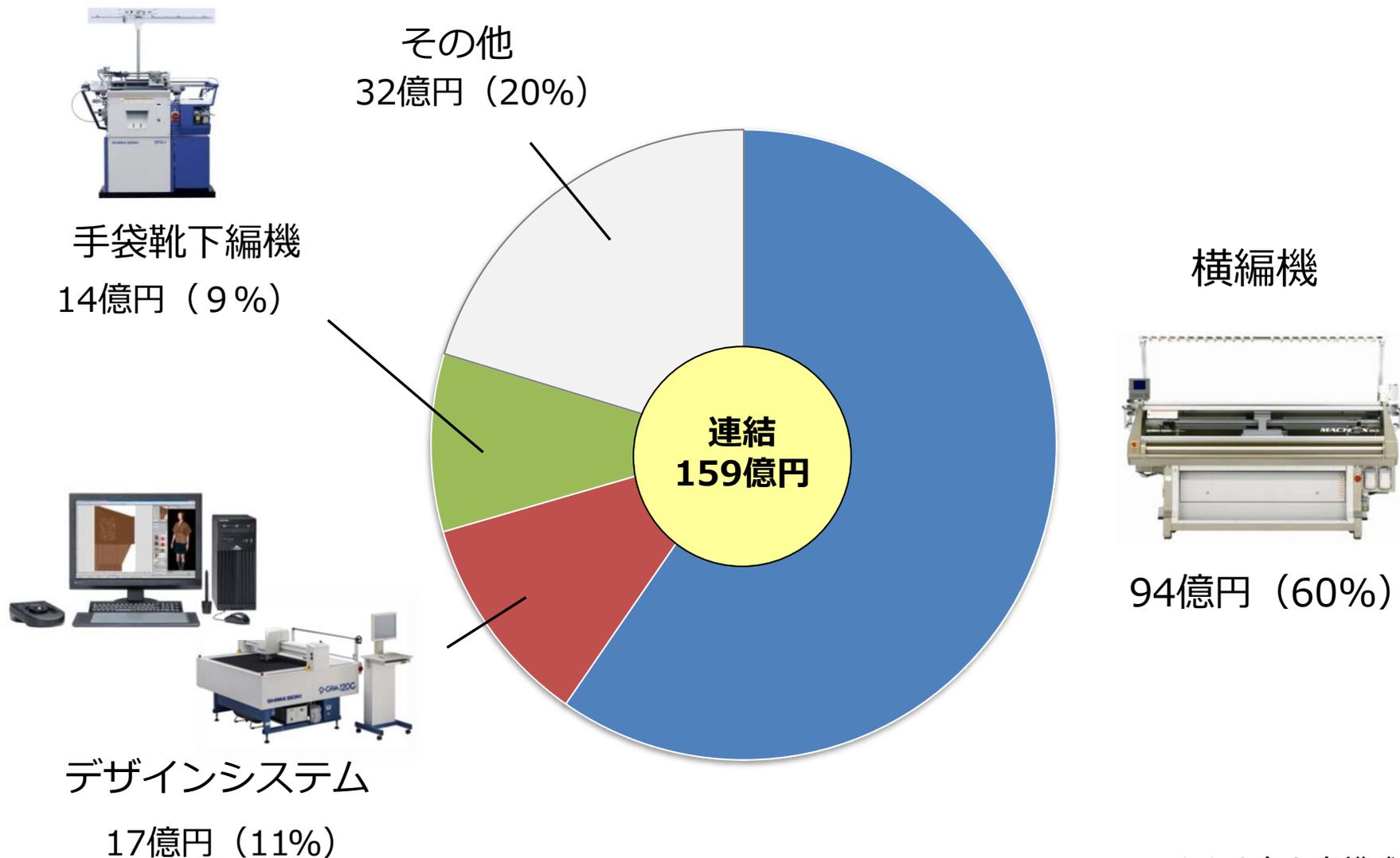
2021年3月期第3四半期決算概要

(百万円)

	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	2020年3月期
売上高	15,914	25,208	33,206
営業利益	△6,555	△3,856	△5,602
経常利益	△4,912	△3,862	△5,583
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△5,070	△2,914	△8,427

為替レート(円)	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	
ドル・円	103.50	109.56	期末為替レート(上段)
	105.78	108.81	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	126.95	122.54	
	122.49	120.91	

事業セグメント別割合

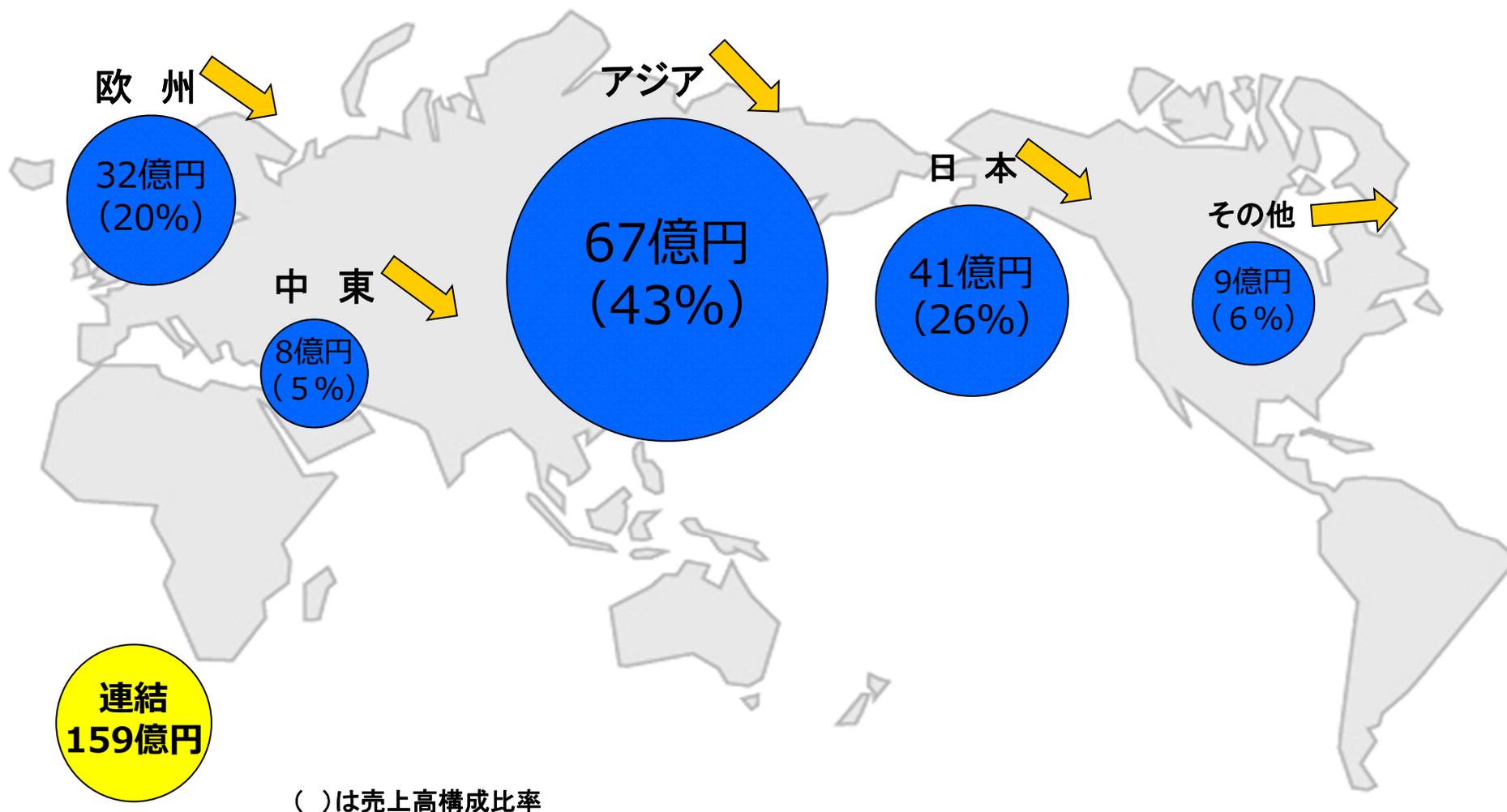


()は売上高構成比率

事業別セグメント別売上高・営業利益（第3四半期）

	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機	9,489	△44.7	△2,119	—
デザインシステム	1,737	△38.4	△10	—
手袋編機	1,450	91.6	△201	—
その他	3,236	△27.4	51	△87.4
消去			△4,275	
合計	15,914	△36.9	△6,555	—

地域別売上高構成〔連結〕（第3四半期）



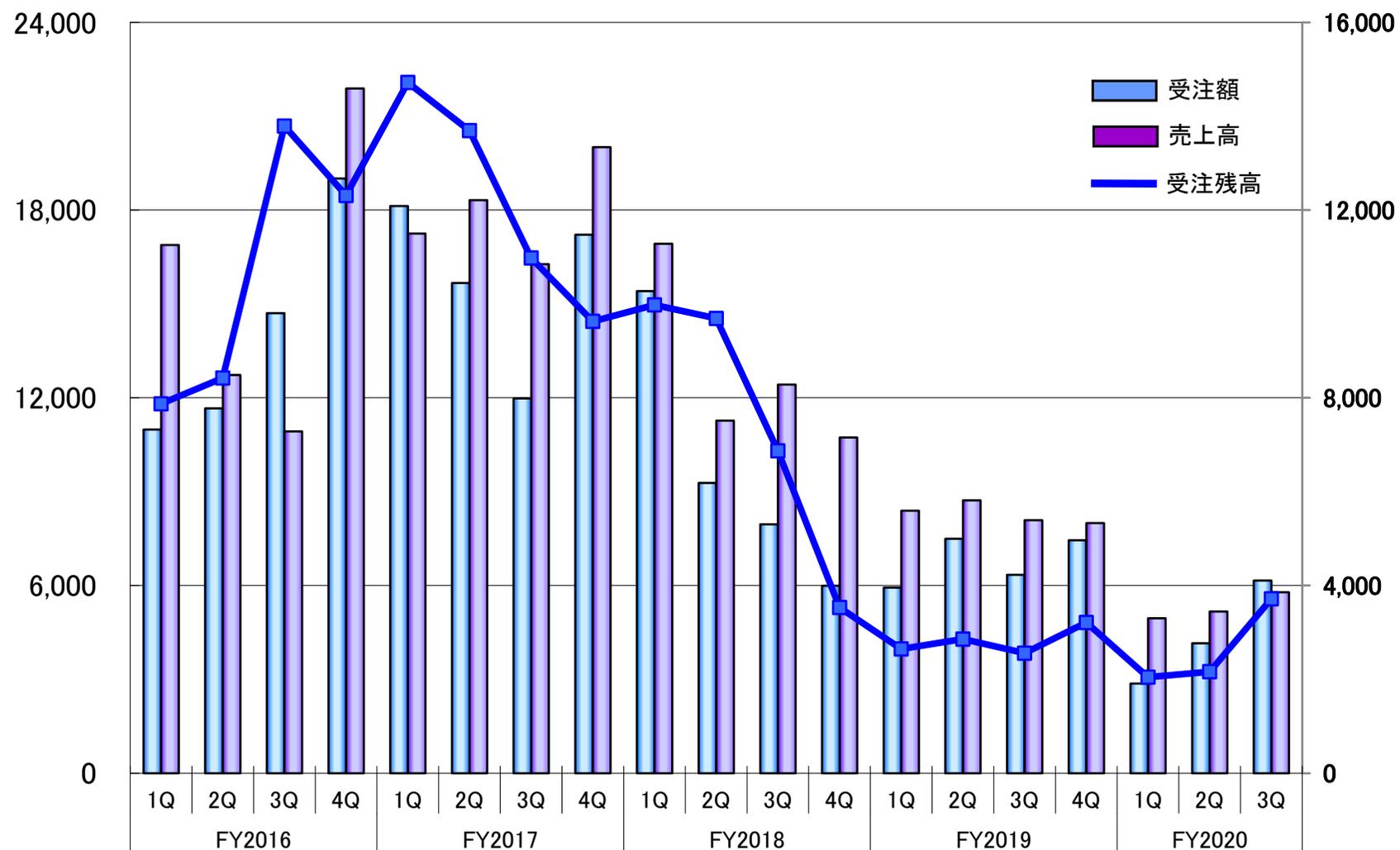
地域別売上高構成〔連結〕（第3四半期）

(百万円)	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)
日 本	4,102	5,305	△22.7
欧 州	3,248	5,084	△36.1
ア ジ ア	6,759	12,504	△45.9
中 東	856	1,400	△38.8
その他(海外)	947	914	3.6
合 計	15,914	25,208	△36.9

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2019/3				2020/3				2021/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	16,923	11,273	12,423	10,732	8,393	8,724	8,089	7,998	4,954	5,171	5,787
営業利益	3,307	1,036	1,257	△962	△872	△1,838	△1,145	△1,746	△1,970	△2,213	△2,371
経常利益	3,670	957	1,215	△852	△944	△1,954	△963	△1,721	△1,414	△1,721	△1,777
親会社株主に帰属する当期純利益	2,571	740	849	△327	△689	△1,372	△852	△5,513	△1,463	△1,745	△1,861

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
受注高	15,412	9,280	7,958	5,994	5,934	7,495	6,345	7,447	2,868	4,153	6,160
受注残高	9,979	9,691	6,869	3,531	2,647	2,858	2,558	3,211	2,048	2,163	3,716

2021年3月期業績計画〔連結〕

	(百万円)		(百万円)
	2021年3月期	前年比(%)	2020年3月期
売上高	25,000	△24.7	33,206
営業利益	△8,500	—	△5,602
経常利益	△7,000	—	△5,583
親会社株主に 帰属する当期純利益	△7,200	—	△8,427

通期計画の前提 為替レート 105円/ドル 120円/ユーロ

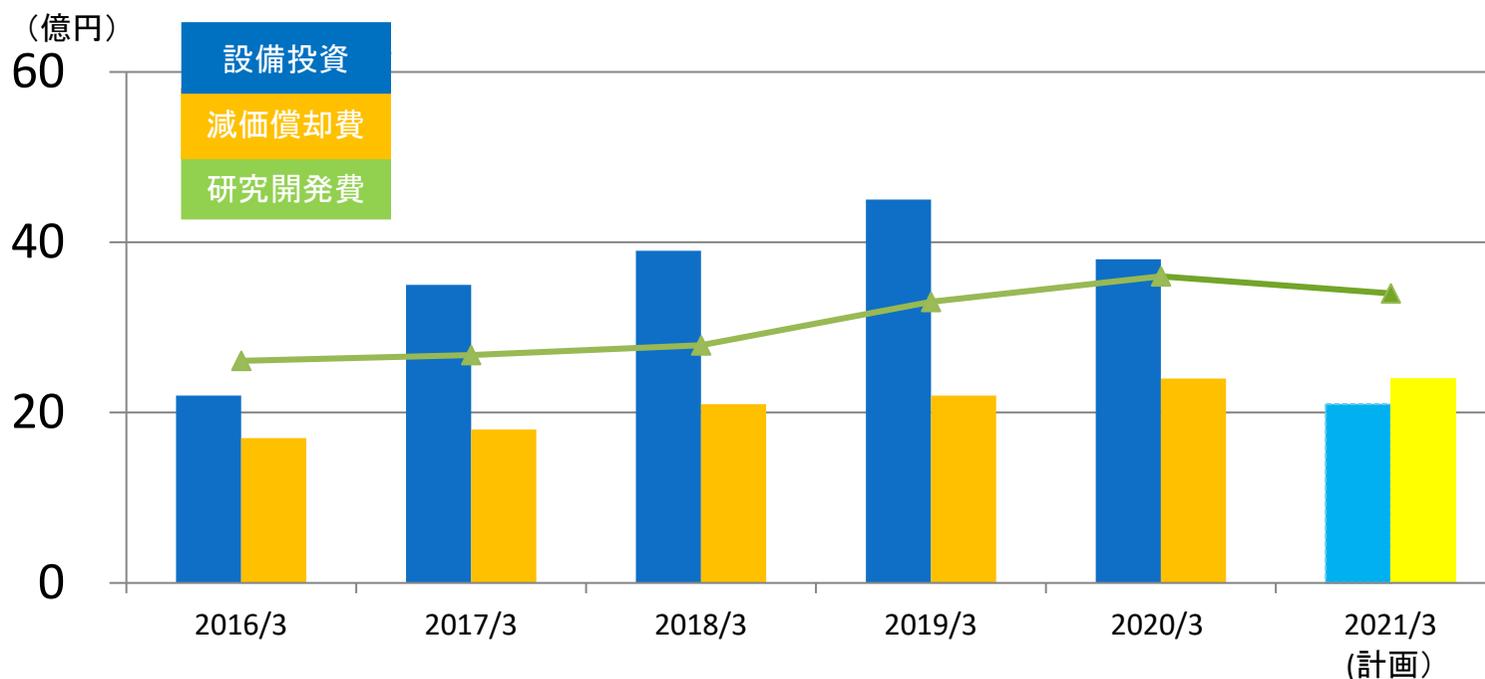
為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル12百万円 ユーロ2百万円

研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

開発スピードはゆるめずに

21年3月期第3四半期（実績） 設備投資9億円（リース資産1億円含む）
減価償却費17億円、研究開発費24億円

21年3月期（計画） 設備投資21億円（リース資産9億円含む）
減価償却費24億円、研究開発費34億円



2021年3月期 設備投資実績

本社工場に新工場棟を建設

第2期工事（2020年10月竣工）

ホールゲームト横編機の生産能力増強、自動化を推進

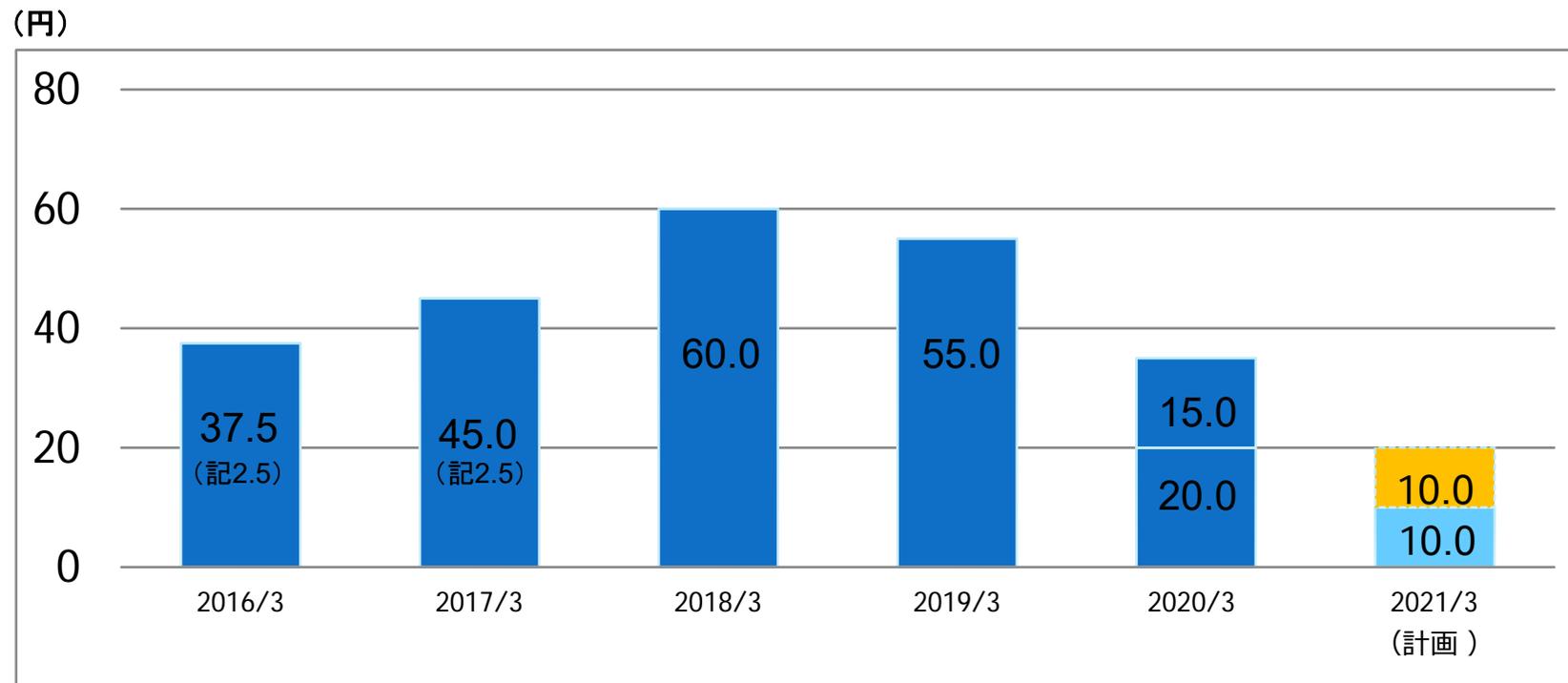


株主還元

2021年3月期(計画)

中間配当金10円

期末配当金10円(予定)



アパレル業界の状況

(コロナ前)

- ・ 米中貿易摩擦による生産地シフト（ASEAN等へ）
- ・ サステナビリティ対応による生産・在庫数の意識が変化

(コロナ禍)

- ・ サプライチェーンの分断
- ・ 一部アパレルで実店舗削減、ブランド削減の動き
- ・ Eコマースによる販売拡大

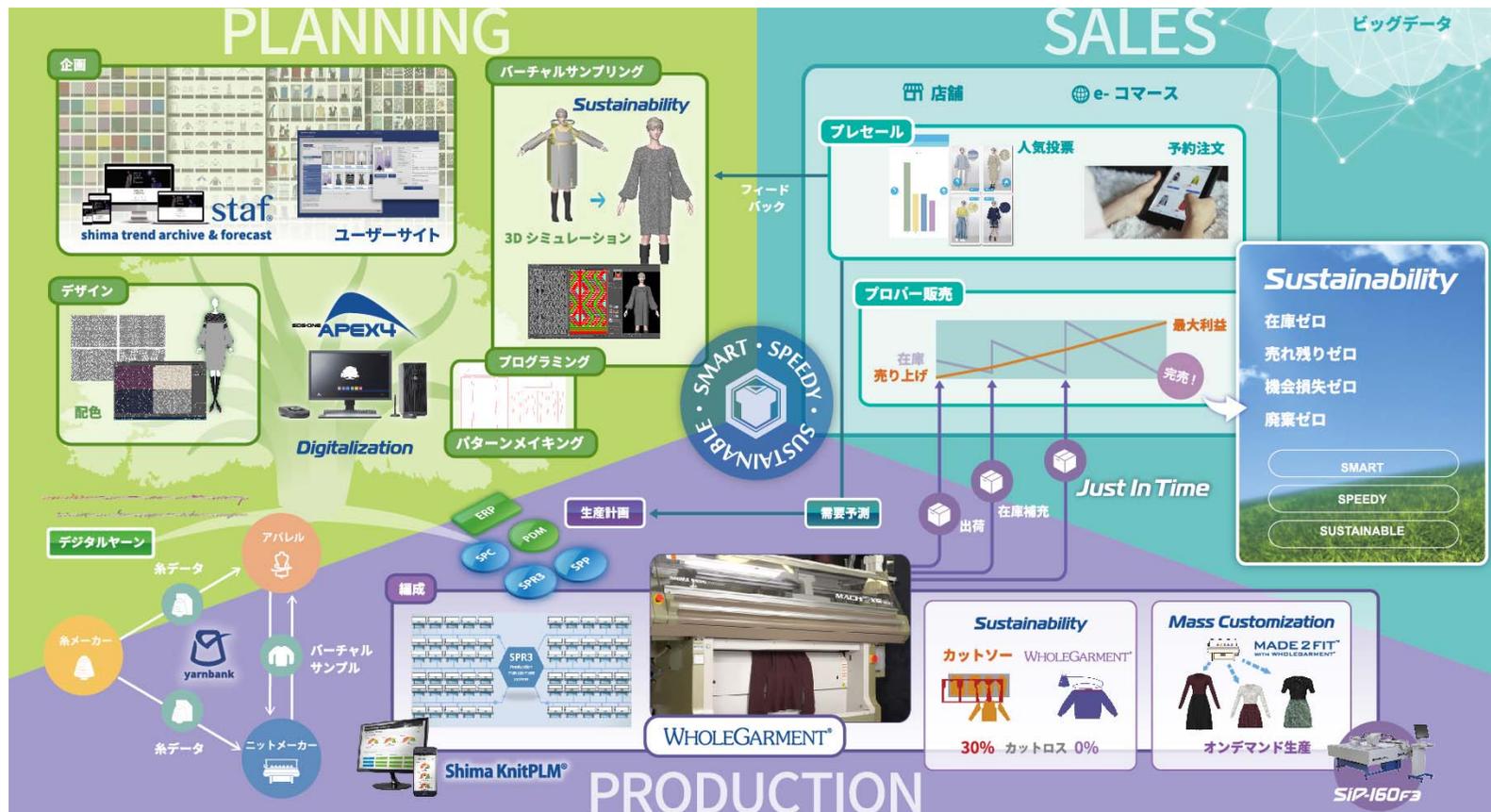
(これから)

- ・ 世界規模での生産革命が始まる
- ・ サプライチェーン全体のデジタル化が進展
- ・ サステナビリティを意識したビジネスモデルが加速

トータルファッションシステム

当社が提唱する「トータルファッションシステム」は、

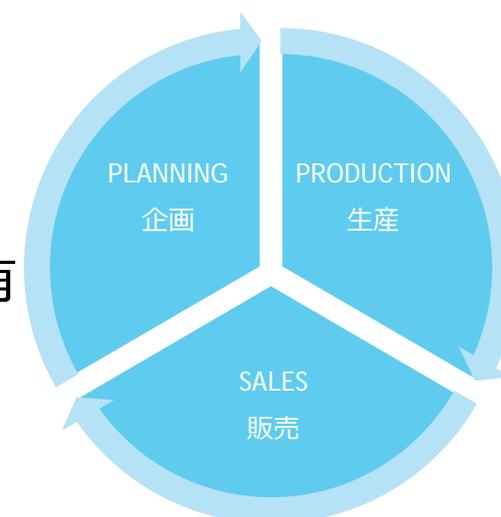
デジタル化、マスカスタマイゼーション、サステナビリティを実現
3Dデザインシステムを核に、企画・生産・販売の全ての工程がそれぞれ相互に情報を取り交わし
密接に関わりスピーディーでスマートな環境に優しいモノづくりが可能



(補足) トータルファッションシステム

<当社の優位性>

ソフトウェア（デザインシステム）と
ハードウェア（横編機、裁断機、手袋編機）を保有
サプライチェーン全体にアクセスが可能



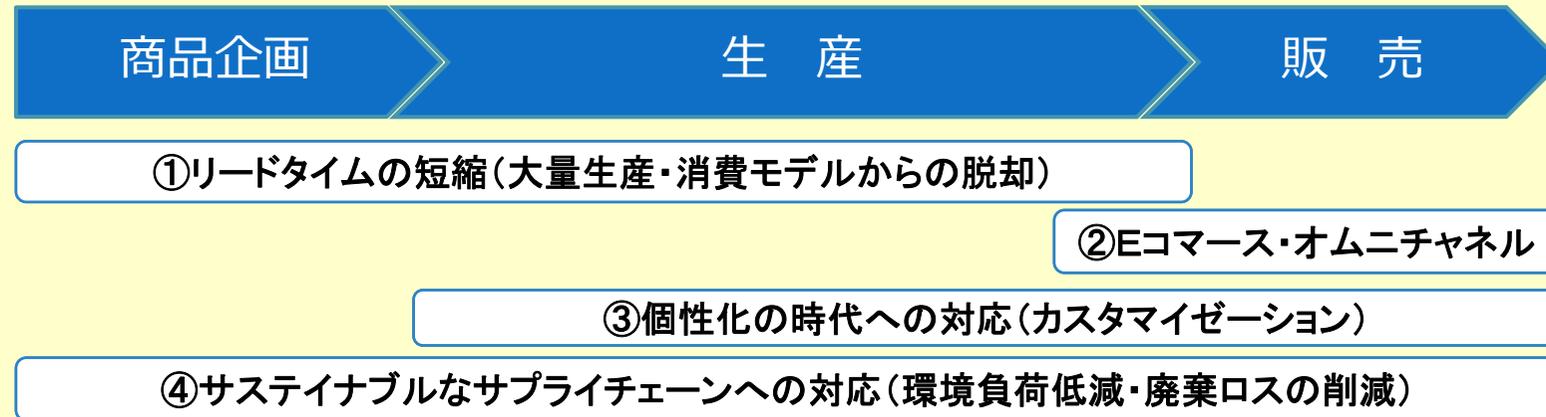
3Dデザイン→プログラム→生産（編み立て）→販売→追加生産
一気通貫のモノづくりが実現できるトータルファッションシステム

バーチャルサンプリング、ホールガーメント横編機の組み合わせで
リードタイムを短縮、在庫・廃棄ロス削減につなげコスト低減

ソリューション開発を強化、サプライチェーン改革を目指す

デジタル化とサステイナビリティ

アパレル業界のモノづくりの流れとその課題



シマセイキからのソリューション提案「デジタル化とサステイナビリティ」

- ・ ホールガーメント、デザインシステムの活用による過剰生産や在庫量の抑制
- ・ 個性化の時代（カスタマイゼーション・オーダーメイド）への対応（WHOLEGARMENT）
- ・ バーチャルサンプルのEコマースへの応用、需要予測に活用（SDS-ONE APEX4）
- ・ デザインシステムにAIを導入し、デザイン制作をサポート（SDS-ONE APEX4）
- ・ PLM（プロダクトライフサイクルマネジメント）で生産最適化を実現（Shima KnitPLM）

MADE 2 FIT™
WITH WHOLEGARMENT®

Shima KnitPLM®



SDS-ONE
APEX4



WHOLEGARMENT®

新サービス



デジタルヤーンソーシングウェブサイト



アパレルデザインソフトウェア



SHIMANAVITM

eラーニングシステム

世の中のニット化～ *KNITify the World™* Smart Solutions in Textiles ～

横編みニットの特性である「素材から形をつくる」は大量生産型のモノづくりからの脱却、個性化の時代に対応します。

横編み技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野にひろげ、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



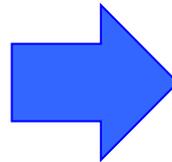
インレイ（横糸挿入）編成技術



ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム



スポーツ、インテリア、産業資材、
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙

SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。